

令和6年度 三重県高等学校総合体育大会
兼 東海・全国高等学校総合体育大会県予選
開催要項

1. 主 催

三重県教育委員会 三重県高等学校体育連盟 三重県フェンシング協会

2. 後 援

公益財団法人 三重県スポーツ協会

3. 主 管

三重県高等学校体育連盟フェンシング専門部

4. 会 場

海星高等学校 体育館 三重県四日市市追分1丁目9-34 TEL 0593-45-0036

5. 大会役員

部 長	服部 芳尚(海星高等学校長)			
理 事 長	福田 るり子			
委 員 長	松本 優			
副 委 員 長	日向 和義			
技術委員長	日向 和義			
総務委員長	中川 佳代			
総務委員	稲垣 智子	真弓 覚仁	辻 高 明	那 須 茜
審 判 長	大野 幸太			
審判委員	山崎大知	竹田陸人	小林侑愛	

その他専門部が認めた者

進 行 係	中川 佳代
記録・報道	松本 優
救 護	中川 佳代
会場責任者	日向 和義
補 助 員	県内フェンシング部員

6. 競技種目

男女学校対抗戦 個人対抗男女フルーレ 個人対抗男女エペ 個人対抗男女サーブル

7. 日 程

監督会議 令和6年 6月1日(土) 09時00分～
審判会議 令和6年 6月1日(土) 09時10分～
競技 令和6年 6月1日(土) 09時40分～(個人対抗フルーレ)
フルーレ終了後(個人対抗エペ・サーブル)
令和6年 6月2日(日) 10時00分～(男女学校対抗戦)
※会場は8時に開館する。

8. 競技規則

- (1)(公社)日本フェンシング協会試合規則・(公財)全国高等学校体育連盟フェンシング専門部規定による。ただし、一部三重県高等学校体育連盟フェンシング専門部ローカルルールを準用する。
- (2)事前に用具検査は行わないが、ポイントの圧力(フルーレ 500g・エペ 750g)の検査は審判員がピスト上で行う。その他の試合用具の点検は各校で行い、ピスト上にて審判が不適合と判断した場合は罰則の対象となる。

9. 競技方法

- (1)学校対抗戦は1チーム4名編成とし、試合は3名総当たりで5勝先取とする。
- (2)個人対抗戦は各種目ともプール方式とトーナメント方式の混合方式とする。
- (3)プール方式では、3分間(実働)5本勝負、トーナメント方式では、3分間(実働)3セット(セット間の休憩は1分)15本勝負とする。但し、例外として、サーブルの第1セットは一方の選手が8点を先取した場合に終了する。規定試合時間終了時に同点の場合、抽選を行った後、1分間(実働)の1本勝負を行う。
- (4)個人対抗戦に関しては、優勝者が決定した後、2～4位決定戦をトーナメント方式で行う。

10. 引率・監督について

- (1)引率責任者は校長が認める県職員または外部指導者とする。
- (2)監督は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は損害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。

11. 参加申込

- (1)個人対抗戦については参加する者個人がフォームにて行う。学校対抗戦については各校顧問が行う。
※校長印が押印された申込書は当日持参すること。申込書は高体連HPよりダウンロードすること。

個人戦参加申し込み QR コード↓

(2) 問い合わせ先

専門部事務局メールアドレス fencing.mie@gmail.com

(3) 申込締切

令和6年 5月23日(木) 必着

※大会運営費として1人1000円徴収する。(当日持参)

※三重県・日本フェンシング協会に登録済みの者に限る。

団体戦参加申し込み QR コード↓

12. 表彰

学校対抗, 個人対抗ともに、1位～4位の者に賞状を授与する。

※表彰式は行う。



13.申し合わせ事項

(1)大会参加に関する事項

ア) 競技中の疾病、傷害などの応急処置は各校で行うこと。

イ) 選手変更についてはエントリーした選手が怪我または病気により出場できなくなった場合大会開会式 48 時間前までに学校長の承認を得て専門部宛に専門部規定の様式により書面にて提出し承認を得ること。

ウ) 外部指導者の監督については複数校の監督を兼ねることはできない。

エ) 引率責任者は大会終了時まで会場に居なければならない。

(2) 競技に関する事項

ア) 上下衣、ストッキングは必ず白色とすること。特に試合中に膝が出てこない長いもので、かつ厚いものを着用すること。

イ) 上衣の中には必ず半袖プロテクター (FIE) を着用し (FIE 公認ユニホームでも着用のこと)、女子の選手は金属または硬い素材でできている胸当てを両胸に着用すること。(フルーレの選手はその上にソフトカバー着用) また、その他の急所にも十分な防備をすること。

ウ) 選手は頭髮に注意し、試合に支障のないようにすること。特に、頭髮がメタルジャケットの表面にかからないようにすること。

エ) ゼッケンを図のように作成し、各自後ろ足膝の上、外側に必ずつけること。姓を男子は黒字、女子は赤字でピスト係が判別できるよう(太さ 1 cm 以上)に記入し、同一校に同性の者がいる場合は識別できるまで名をつける。

オ) ベンチの入場者は、当該種目監督及び登録選手とする。

カ) 外履き・内履きの靴は、競技会場・練習会場とも必ず区別すること。

キ) 練習中はマスクなし・袖なしプロテクターでのファイティング・レッスンを禁止する。

ク) 剣で床を突かないこと。また、剣の曲りを直す場合は備え付けのベニヤ板の上で行うこと。

ケ) エペのガードの内側のソケットにはブロックの中で2つの分離された穴がなければならない。従って、2本のワイヤーがブロックの中を別々に通り、端末に繋がるようにすること。

コ) ボディーワイヤーには両端に接続プラグがついているが、この接続プラグは透明の素材で作られてなければならない。武器に装備された安全確保装置の欠如の場合は、安全確保装置がボディーワイヤーのプラグに装備されていること。

サ) 各自熱中症対策を施すこと

ゼッケン

姓
学校名